

いたばし区から 日本を良くしよう!

— 親を大切に。家族を大切に。地域を大切に。 —

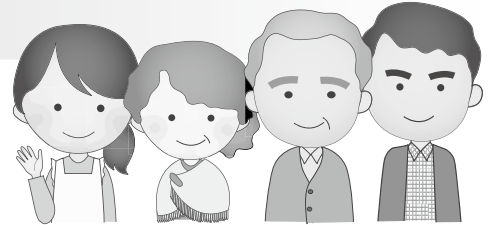
中村とらあき

さんの“政策信条と活動”
を紹介します。

両親を大切にしよう!

▶ 家族を大切にできる社会を実現する

中村とらあきさんは長く海外で生活してきましたが、父親が病気になり、帰国することにしました。ガンの治療で痩せ細った父親を車椅子で引きながら、また介護で疲れ切った母親の顔を見て、子供として両親と一緒にいないといけないと感じたためです。小さな段差でも車椅子は通れず、持ち上げなければなりません。歩けるようになっても踏切をわたるには時間がかかり、すぐにしまっしまいます。町にはほかにもいろいろと問題がありました。中村とらあきさんは両親と一緒に暮らす中、家族のためにも、地域を変えていく必要性を感じています。



いたばし区で拉致被害者の支援を!

▶ 横田めぐみさんのご両親にインタビュー



中村とらあきさんは北朝鮮の拉致事件にも積極的に取り組んでいます。特に「草の根による運動」が重要だと考えています。2014年2月に中村とらあきさんは拉致被害者である横田めぐみさんのご両親とお会いし、インタビューしました。子供がさらわれ、生きていることがわかっているにもかかわらず、会えない日々の辛さ、そして親が子を思う気持ちの強さを知りました。親と子の絆を引き裂かれた被害者家族の心の支えに少しでもなれるよう、草の根による支援活動を約束しました。

家族のために一緒に町を作ろう!

▶ 中村とらあきさんとの「トーク＆トーク」

中村とらあきさんは対話式集会「トーク＆トーク」を開き、地域の方々からいろいろな話を聴きました。ときわ台駅の北口にはエレベーターがありません。このため、身体の不自由な方やご高齢の方にはたいへん不便な施設となっています。駅内の階段で転ぶ人も絶えません。また地域活動の拠点であった集会所がなくなり高齢者の方も離れた集会所を利用するしかなくなってしまうこと、自転車が移動手段なのに道の状態が悪いため怖くて乗れないことをはじめ、中央図書館の移転や上板橋の再開発など様々な問題や課題を聴きました。中村とらあきさんは、家族のため、地域のための町づくりを一緒に考え行動して行くことを提唱しています。

